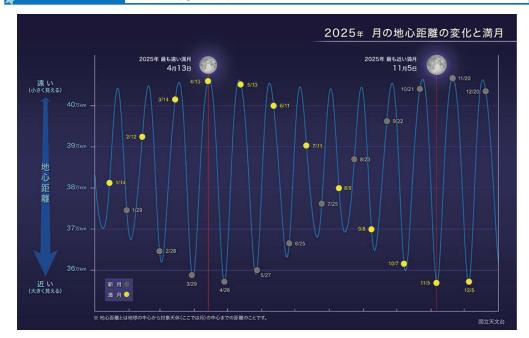
◆今月の天文現象

- 5日 ○満月(2025年で地球に最も近い満月)
- 7日 立冬 (太陽黄経 225 度)
- 12日 ●下弦
- 18日 3時頃、しし座流星群が極大
- 見頃は11月18日未明。 夜半前は月の条件が良い

- 20日 ●新月
 - 水星が内合
- 21日 天王星が衝
- 22日 小雪 (太陽黄経 240 度)
- 28日 ① 上弦

PION UP★天文現象

木星と月の接近



11月5日は、2025年中で地球から最も近い位置で満月になります。地球の周りを公転する月の軌道は楕円形をしているため、地球と月との距離は一定ではありません。さらに、月の軌道は太陽や地球などの重力を受けて刻々と変化しています。このため、地球の中心と月の中心の間の距離は上の図のように変化し、満月や新月のときの距離も、毎回異なります。2025年で地球から最も遠い満月は、4月13日でした。今回の満月は、4月13日の満月に比べて見かけの大きさが約14パーセント大きく見えます。月を二つ並べて比較することはできないため、その日の月を見ただけで視直径の変化に気づくのは難しいでしょう。

◆土曜の夜は星をみよう

毎週土曜日夜、プラネタリウム投映と天体観望会を開催

◆ サタデーナイトプラネタリウム

40 分間の生解説でお送りします。天体観望会の前に星空を予習したい!

という方におすすめです。*今後の状況により変更となる場合があります

+毎週土曜日 18 時~40 分間(途中入場不可)。要プラネタリウム観覧料(17 時 55 分 販売終了)。

も~っと星空散歩 11月の星空を楽しもう~カシオペヤ座を見つけよう~(11月1、8、15、22、29日)

季節の星座や見ごろの天体をたっぷり紹介します。

天体観望会で観望予定の天体も紹介するので予習できます。

また、そのときどきの天文現象や宇宙の話題もお届けします。

◆ 天体観望会

- +時間: 10月~2月19時~20時30分 / 3月~9月20時~21時30分
- +観望会は無料。受付は終了時刻の30分前まで。天候不良の場合は中止。
- +天体観望会のテーマ

*今後の状況により変更となる場合があります

11月 カシオペヤ座をみつけよう /12月 古代エチオピア王家の星座をみつけよう

*実施の可否は当日 18 時に判断し HP や SNS でお知らせします。 また天候不良により途中で中止となる場合もあります。

◆今月の見ごろの天体

- ★ 1日・・・土星、 月(月齢10.6) 海王星 など
- ★ 8日・・・土星、 海王星 M31(アンドロメダ銀河) など
- ★15日···土星、 海王星 M31(アンドロメダ銀河) など
- ★22日・・・土星、 海王星 M31(アンドロメダ銀河) など
- ★29日・・・土星、月(月齢8.8) 海王星 など

*観望天体は、天候・混雑状況などにより、変更になることがあります。

···秋のイベントのお知らせ···

★11/2 (日)・3 (月祝) 大型熱気球を飛ばそう

大きな袋で熱気球を作って、実験してみよう

- ①10:15 ~ 11:00 未就学児含む家族
- ②14:45 ~ 16:15 小学生以上の家族

★11/29(土) 天文祭 2025

開催時間や参加方法など詳しくはHPをご覧ください。

「記述」



★11/21(金),23,(日)24(月) プラ寝たリウム 日本プラ寝たリウム学会では、11月23日の勤労感謝の日に、 「全国一斉『熟睡』プラ寝たリウム」を実施しています。



